

学校法人滋慶学園 東京ウェディング・ホテル専門学校
2021年度学校関係者評価委員会 結果報告書

日時 2021年6月22日(火)13:00～15:00 第2校舎3階バンケットルーム

●学校関係者評価委員

【委員氏名】

染谷 紗矢	卒業生代表	ザ スtringス 表参道
柳田さん保護者	保護者代表	
真板 竜太郎	高校関係者	木更津総合高等学校学校長
沼倉 英里	近隣関係者	行船管理有限会社
石渡 雅浩	業界代表	The Professional Wedding 編集長
織原 由和	業界代表	株式会社 ディアーズブレイン 人材開発部 兼 人事総務部

【学校側参加者】

土田 雅彦	東京ウェディング・ホテル専門学校 学校長
岩村 勇	学校法人滋慶学園 執行役員
菅野 悠	東京ウェディング・ホテル専門学校 事務局長
丸山 敏夫	東京ウェディング・ホテル専門学校 教務・キャリアセンター部長

(学校関係者評価委員の評価および意見)

点検・評価項目	評価委員からの評価 優れている…5 適切…4 努力課題あり…3 改善が必要…2 全く出来ていない…1	評価委員よりの御意見
1 教育理念 目的・育成人材像	4.8	業界が求める人材像を、業界の方々へのヒアリングなどを通じて常にアップデートしており、それを教育に生かしている
2 学校運営	5.0	前年度までの課題を洗い出し、さらに良くするため毎年新たな取り組みをされて非常に良いシステムが構築できていると思う。 健全な運営・整備がされており、情報システム化へ向けた IT 投資も積極的に行われている。
3 教育活動	4.8	コロナ禍という逆境の中で、ICT ツールの導入を推進することで、業務の効率化のみならず、学生の主体的な姿勢を涵養するという効果が見られたことは、大きな成果である。GPA 制度やルーブリック評価などの新たな評価制度の導入も、学生の能力・資質向上に大きく寄与するものであると思われる。 講師と学生間のギャップをいかになくせるか課題が残っていると思う。
4 学修成果	4.0	卒業生の実情把握は限度があると思うが、学生指導の結果は卒業生でしか知りえないことなので、学校の成果調査としてももっと本格化して良いと思う。

		卒業生の定着率も非常に重要であるが、貴校の卒業生の就職後の養成目標とリンクさせた活躍指標などを設けるなどの社会的評価のリードを拡げていただきたい。
5 学生支援	4.2	<p>現場実習の稼働率や遅延で退学率が下がった可能性があるのであれば、次年度以降は現場実習への心構えをよりしっかりとできるようにしていく必要があるのではないだろうか。</p> <p>プランナー専攻の現場実習でのモチベーション低下とあるが、どの職業でも最初は事務作業や下積みから入るものなので、サービスをしながら「自分ならここでこういう演出をしたい」など想像を膨らませてレポートを作ってみる等モチベーションにつながる工夫の仕方を教えていく必要があるのではないだろうか。</p> <p>卒後支援とあるが正直申し上げて具体的にどのような制度があつて、どうすれば利用できるのか、理解できていないというのが卒業生の実態だと思う。せっかくの学生支援なので、より多くの卒業生が利用しやすいような仕組みがあるとより良いと思う。</p>
6 教育環境	4.2	<p>施設設備について、第一校舎と第二校舎が機能的に使い分けられており、学生が快適な学習および実習に取り組むことができる。特に実習室に関しては、現場での実践に極めて近いレベルでの高度な実習が実施できると思われる。</p> <p>コロナ禍で現場を深く知ることができない学生に向けた支援が課題であると思う。実習が出来た学生と出来なかった学生、全員が平等に現場同様の学びを得ることが出来る機会を設けて頂きたい。</p> <p>現場実習の受け入れ自体が限られている中で、特別措置を講じ対応している</p>
7 学生の募集と受け入れ	4.8	<p>募集後の動機付けや親御様へのケアは非常に効果的にされている。</p> <p>高校生等入学希望者に向けた学校PRは非常に優れていると思う。また、学費の内訳の公表など情報の透明性も素晴らしいと思う。</p> <p>少子化も進み、学生の入学希望者数が減少傾向にある学校の話も聞くことが多いが、ほぼ定員数と同じだけの学生が入学しているというのは素晴らしい。</p>
8 財務	4.8	<p>適切な収支予算を立て、学園本部とも連携した綿密なチェックも行われている。</p> <p>財務面においては健全な財務体質且つ適正な運営体制となっている</p>
9 法令等の遵守	5.0	<p>個人情報に関する自己評価に値する事案についても詳細に改善策が講じられている</p> <p>情報公開についても適切に行われている。学生に対する個人情報保護やSNS等に関わるネットリテラシーの教育は、現代の社会的な課題として、今後も積極的に取り組むべきものである。</p>
10 社会貢献	4.5	<p>ウエディング業界特化型の就職イベントにおける受付等のボランティアについては、学生たちが活躍しており、学生たちの働きがなければイベントとして成立しないほどである。企業の人事担当者からも学生スタッフの動きの良さに毎年感心しているとの言葉をいただいている。</p> <p>「産業界・地域からの信頼」を掲げる中で、例年行われているハウスウェディング運営は、学生にとってはこれ以上ない実践練習の機会であり、社会貢献としてもクオリティの高いイベントである。</p>

		在学時より国際教育が課題であると感じていた。一部ではなく、全員が学べる機会があると良い。
--	--	--

(学校関係者評価の活用について)

本校の学校運営および教育システムについては各評価委員から概ね高い評価を得ている。2020年度を振り返り、コロナ禍での影響が大きい1年であった。業界不安から、保護者代表委員から先行きについての質問を頂いた。カリキュラムの根幹になる現場実習の実施率と、就職にむけた求人確保については2021年度に向け、本校としても下記の対応を決定・計画・実行している。

現場実習については、ウェディング業界全体としても2021年秋から2022年春にかけて、これまで日延べをしていた方々が結婚式を挙げるため、現場での実習受け入れが回復傾向にある。学校として実習先の開拓、1年次生に早期の動機づけを行い実習への受験促進を行い、2021年度は全員が実施可能なところまで来ている。業界求人については依然として少ない、または採用枠の減少から競合激化の傾向が続いている。そのため、現2年次生へは従来よりも受験促進を強め、機会の獲得に努めている。また、1年次生について例年よりも1か月早い10月から就職活動への選抜ゼミ活動を計画しており、就職内定獲得に向け対策を施している。

(次回日程)

2022年 5月中に実施

以上